

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 30	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
要望問題名 シクラメンの日持ち性向上の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 【背景】シクラメンやガーデンシクラメンは、管内の鉢物、花壇苗生産者の主力作目であるが、栽培期間後半から数多くの開花茎を着けさせ、販売期間中、その状態を維持する必要がある。また、初期に開花した花の鑑賞期間を長くさせることは、老け花の除去作業の軽減につながる。 【内容】シクラメンへのSTS 剤効果は否定的な試験結果があるが、利用実態がある。品種間差等が大きいと考えられることや、日持ち性の調査に新しい手法が近年取り入れられていることから、再度検討をお願いしたい。 【対象地域及び規模】シクラメン 40 戸、ガーデンシクラメン 60 戸（シクラメンと重複多数）	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可
試験研究課題名    (①、②、④の場合)	
対応の内容等 シクラメンへSTS 剤を散布することによる日持ち性向上効果については、栃木農試による試験結果があり、50～100ppm 液の葉面散布により、萎凋花の発生、花卉の退色が抑制され、観賞持続性が向上するとされています。鉢物用STS 剤として商品化されているものもあり、県内でも一部利用されているとのことです。栃木県内での使用状況など、より詳しい情報を得るように努めますので、これらをもとに、品種間差等については現地で確認して、実用技術としていただきたいと考えます。	
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
備考	